1 部

1. 「前奏曲嬰ハ短調 Op3-2 鐘」ラフマニノフ

水産学部 1 年　堀田　柊成(ほった　しゅうせい)

曲紹介

ラフマニノフが 19 歳の時に作曲したこの曲は彼の最も有名なピアノ曲の一つであり一度はどこかで聴いたことがあるのではないでしょうか。19 歳でこんな暗く、重く、そして激しい曲を生み出すことができるなんて、にわかに信じがたいです。僕自身この曲は one call away という洋楽の mv で知りました。重厚な和音が連続しているフレーズを聴いてかっこいいなと思ったことを覚えています。「鐘」という愛称はベートーヴェンの月光などと同じように作曲家が命名したわけではありません。がしかし曲を聴くとなぜ鐘と名付けられたのかわかると思います。

楽曲はフォルテッシモの３つの和音から始まりこの後何回も繰り返される憂鬱なテーマが導かれます。中間部では三連符が連続して、まるで谷底に落ちていくような印象を聴衆に持たせます。そして中間部の盛り上がりが最高潮を迎えた頃、テーマが壮大に再現されて終焉に向かっていきます。ちなみにこの曲の最後の数小節のモチーフは、かの有名なピアノコンチェルト２番の開始部に使われてるとか。

この曲の良さを少しでも伝えることが出来たらいいなと思って演奏します。温かい目で見守ってください。

他己紹介

手短ながら、堀田柊成君の他己紹介をさせていただきます。彼は北大水産学部 1 年生のお魚大好き少年です。以前、友達からもらったサケ 1 匹を自分でさばいたらしく、バイト先もお魚を取り扱っているとか。好きなタイプはカレイのような、おっとりとした性格の人だそうです(※勝手な想像です)。

　余談ですが、僕と堀田君は静岡県出身ですので謎の仲間意識をもっています！彼の人柄は気さくで真面目で優しい心の持ち主と言えます。まさか先輩に対して生意気な態度を…なんてことは無いですよ!? ピアノの演奏も暖かみのある素敵な音色を響かせてくれるはずですので、ぜひお楽しみに。

2. 「ノクターン第 20 番嬰ハ短調遺作」　ショパン

理学部化学科 1 年　井上　武優(いのうえ　たけまさ)

曲紹介

ノクターン第 20 番嬰ハ短調遺作は、映画「戦場のピアニスト」でも使われた有名なクラシック曲です。ショパンはこの曲を姉の練習のために作ったと言われていて、うちと同じくらい美しい姉弟愛だなぁと思いました(笑)この曲はとても切なく哀しげな雰囲気の旋律が大きな魅力であり、僕もそれに魅了されました。哀愁漂う美しい旋律をお楽しみください。

他己紹介

まず筆者と彼は同じクラスなんですが知り合ったきっかけは Twitter なんですね。仲良くさせてもらってますが出身が違ったり趣味も違ったりということで話はあまり合いません(笑)。ピアノの他にサッカーが好きだそうですが、あまりその話はしません。ゲームもあまりしないようです。
彼ですがよく落単詐欺をします。まあ結局単位は取っちゃう辺り頭いいなあと思ってた彼ですが実は自転車に乗れません。夏休みに練習してましたがもう乗る気はなさそうです。

3. 「組曲『くるみ割り人形』より花のワルツ」　チャイコフスキー
藤女子 3 年　木田　実玖(きだ　みく)

4. 「シシリエンヌ」　フォーレ
理学部 1 年　端山　恵菜(はやま　えな)

曲紹介
シシリエンヌとは、イタリアのシチリア島起源の舞曲のことです。この曲は、フランスの作曲家フォーレがチェロとピアノのために書きました。短調の優しく切ないメロディーで始まり、中間部で、陽の光が差したような明るい旋律が登場します。シチリアの美しい景色を想像しながらお聞きください。

他己紹介
恵菜ちゃんは後期から入部してくれた新人さんです！初対面の印象を漢字一文字で表すと「凛」でしょうか、立ち振る舞いや話し方が毅然としていて洗練された美しさを感じたのです。話を聞くと、案の定めちゃくちゃすごい人でした。全国有数のトップ高校出身、大学の留学支援英語は最上位クラス、自然科学実験では鈴木章賞受賞…と挙げればキリがありません。でも喋ると堅苦しさなんてものは全く無く、一緒にいるとすごく楽しい子です！個人的にこんなお姉ちゃんが欲しかったランキング第 1 位です。来年からは会計係としてバリバリ活躍してくれることでしょう…！
さて、そんな彼女の演奏は非常にエレガントで聴いていると高貴な気分に浸ることができます。今日ご来場の皆さんにも優雅なひとときを感じてもらえたらなと思います！

5. “3 Romanzen, Op. 28: No. 2 in F-Sharp Major” シューマン
HUSTEP4 年　ギヨーム・アデル

曲紹介
シューマンの「3 つのロマンス」は 1840 年に作曲されました。シューマンの恋人、クララという女性のためにプレゼントしました。彼女にとって、3 つの中で、2 番目のロマンスは一番美しいのです。

他己紹介

アデルさんはスイス出身の交換留学生で後期から入部してくれました。母語であるフランス語に加えて英語と日本語を話すことができ、しかもドイツ語、中国語、韓国語も勉強中だそうです！さらに北大バドミントン部でも活躍しており、球技全般だけでなくスノーボードやスケートもできる多彩な方です。もちろんピアノも大変お上手でドビュッシーやラフマニノフを好むと聞きました。ちなみにポップスでは Vaundy がお好きなんだそうです！筆者は 2 外がフラ語なのでたまに実践してみようとして話しかけるのですが、その度に自分の不勉強さを痛感しております…いつかフランス語でお喋りできたらいいなあ〜

そんなアデルさんの国際色豊かな演奏をお楽しみください！

6. 「樅の木」　ジャン・シベリウス

工学部 3 年　永山　奏子(ながやま　かなこ)

曲紹介

私たちに馴染みのあるクリスマスは、街中で高揚感のある音楽が流れ、どこか浮き足だった季節といった印象がありますが、本場ヨーロッパの 12 月 25 日は澄んだつめたい空気にあたたかな蝋燭の光を灯しながら、静かに安らかに、キリスト様の誕生をお祝いします。

この曲の魅力は、なんといっても和音がとても洗練されているところ。常緑樹である樅の木が象徴する「永遠の命」と、北の森に宿る神秘的な美が深みのある和音のもとに光ります。音が非常に少なく、表情を持たせることが難しい一曲ですが、一つひとつの音に命を吹き込みながら演奏できればと思います。

「サンタクロースの住む国」とも言われているフィンランド。純白の大地に根差す美しい樅の木の森を思い浮かべながらお聴きください。

他己紹介

日本、アメリカ、ドイツを渡り歩いてきた彼女は、その経歴だけでも相当なインパクトがあるのだが、なんとしっかり 3 言語操れてしまう。そう、トリリンガールである。明日には 4 言語目を習得しているのではないだろうか。

しかし、これでは終わらないのが彼女である。理系学部に所属しながらも法学徒としての素養を持ち合わせ、文才があり、おまけにお菓子まで作れてしまう。

そして今日、才女はここ北海道の地でピアノのセンスまで披露してくれるというから、とても楽しみである。ピアノに関して本人は趣味と言い張っているが、なんと国際コンクールで優勝経験を持つ超実力者。

超人的すぎて、この他己紹介文の読者は圧倒されているかもしれないが、実は TWICE のミナちゃんが大好きという可愛らしい趣味を持っていたりもしてちゃんと人間なので、ここは安心して演奏に集中してほしい。

ちなみに長山ではなく永山、かなこは考え得る典型的な 3 文字(Ex. 佳菜子、可奈子)ではなく奏子なので、よく覚えておこう。頻出です。

7. 「月の光」　ドビュッシー

理学部数学科 2 年　武藤　慎治(むとう　しんじ)

曲紹介

ドビュッシーの月の光は，ベルガマスク組曲の 3 曲目の曲で，組曲の中でもっとも有名です。しかしこの曲は 8 分の 9 拍子と，あまり採用されない拍子を採用しています。この拍子を採用することで，楽譜通りにきちんと弾くと世界観が現れるようにドビュッシーがうまく考えたのだと思います。この曲は，このヴェルレーヌの詩の世界を描こうとしたことして書かれたものです。ドビュッシーはいつも矛盾や悲しみを心の中に抱える内向的で暗い人だったそうです。ヴェルレーヌの詩には，過ぎ去ったもの，悦楽の後の虚しさが歌われていて，「月の光」はそんな切なさを見事に音楽にしています。ただの月の光の情景だけではなく，哀愁漂うあいまいな世界が描かれています。ドビュッシーが感じた美しい音はしばしばフランスの伝統的な西洋音楽の規則から外れた音であることが多く，ドビュッシーは伝統にしばられることを嫌がったそうです。この曲を作曲する以前，1885 年からドビュッシーは２年間，イタリアのローマへ留学しています。ベルガマスク組曲のベルガモ地方はイタリアの北部のミラノ近郊にあり，留学中のドビュッシーが訪れていたということから，この組曲がベルガモ地方との関係もあるのではないかと言われています。

真冬の雪がしんしんと降る季節に月の光が注ぐ世界に，この曲の描く情景は通ずるものがあると思います。ドビュッシーの考えるあいまいな世界を想像しながら聞いて頂けると嬉しいです。

他己紹介

理学部数学科 2 年の武藤慎治くん。筆者は工学部、同じ理系で数学はもちろん扱うのですが、以前話した時そのアプローチが全く違って面白いなと思ったものです。数学の定理は覚えて使えるようにはするけど証明とか導出は覚えてないなぁ～と話したら「マジで…？」とドン引きされました。工学屋の自分にとっては答えが有効数字３ケタで出ればそれでいいという認識なのですが、理学部は違うようです。面白いですね。さて、今回はドビュッシーを弾いてくれるみたいです。ダイナミックな曲から繊細な曲までなんでも弾きこなす武藤君。今回の演奏も楽しみです。

2 部

8. 「パガニーニによる大練習曲第 3 番ラ・カンパネラ嬰ト短調」　リスト

工学部 3 年　早川　桂佑(はやかわ　けいすけ)

曲紹介

この曲は、パガニーニのヴァイオリン協奏曲第 2 番第 3 楽章『ラ・カンパネラ』をリストが編曲したものです。リストの編曲は複数ありますが、その中でも大練習曲のものは最も頻繁に演奏されています。

カンパネラはイタリア語で「鐘」という意味で、曲中にも鐘の音を思わせる装飾が多くあります。

他己紹介
早川桂佑の出身地は？身長は？北海道の先っちょに住んでいるって本当？God Voice って？

突然ですが、みなさんは早川桂佑さんを知っていますか？
現在、ゲストハウススタッフとしてだけではなく、猫の世話係、ピアニストなど、多岐にわたる活動をしている方です。
でも、早川桂佑さんについて知っていることってあんまり多くないですよね。
そんな早川桂佑さんにまつわる疑問について、調べてみました！

早川桂佑のプロフィール

名前：早川桂佑
血液型は、公表されていないようです……
ツイッターやインスタグラムも利用されているようなので、要チェックです！

出身地は？名古屋出身なの？

調査したところ、早川桂佑さんの出身地はわかりませんでした……。
名古屋出身だという噂を聞きますが、実は金沢出身だという噂もあります。もし金沢出身だとしたら、ステキですよね！

身長は？

調査したところ、早川桂佑さんの身長はわかりませんでした……
写真などを見ると、とてもかっこいいですよね！身長もとても高いかもしれません！

北海道の先っちょに住んでいるって本当？

ツイッターなどを見ると、どうやら道北の「日本一しょぼいゲストハウス　ウタラといかん」で、住み込みスタッフとして働いているようです！
道北に行くときは、要チェックですね！

God Voice って？
調査したところ、God Voice の意味はわかりませんでした……
神の声って、なんだかかっこいいですよね！神託を受け、メシアとして世界に平和をもたらすのかもしれません！

以上、早川桂佑さんについてでした！
いかがでしたか？
なんだか凄そうな人ですよね！今後の活躍も楽しみです！

9. 「愛の夢 3 番」　リスト
理学部数学科 3 年　笹木　元太(ささき　げんた)

曲紹介

今回私が演奏する愛の夢はリストが 1845 年にフェルディナント・フライリヒラートが作詞した「おお、愛しうる限り愛せ」という詩をもとに作曲した曲です。この曲は元々リストがソプラノ独唱のために作曲したものでしたが、例によって気に入った自分の曲を再編曲することが大好きなリスト自身の手によってピアノ独奏用に編曲されよく知られる今の形になりました。
曲の題名に「愛」や「夢」という字が当てられていることや、ゆったりとしたロマンティックなメロディーから恋愛を歌った曲だと思われがちですが、実は違います。
いずれ居なくなってしまう大切な人を生きているうちに愛せる限り愛せよという内容を歌った曲です。
愛の夢のピアノ編曲が世に出た 1850 年の前年 1849 年は当時のヨーロッパのピアノ界を共に牽引したリストの良きライバルであり友であったショパンが亡くなった年です。一説によると、この曲は 1830 年代後半にリストがパリを離れてから一度も会わずにそのまま帰らぬ人となったショパンへの思いを歌ったものだとも言われています。

この曲はカデンツァ(quasi cadenza と書かれてあるのでカデンツァ"風"が正確ですが)をふたつ挟む 3 つの場面からなる曲です。カデンツァを挟んで変わる雰囲気のコントラストをお楽しみください。2 つ目のカデンツァのうち下降部分が非常に難しくこの紹介文を書いている今日現在、大苦戦しています。本番がどうなるのか楽しみですね！(ヤケクソ)

そして「よりによってクリスマスに"愛の夢"なんて名前のロマンティックな曲を演奏するとは笹木くんさては＾＾」と思ったそこのあなた！
全然違うぞ！ ;;

他己紹介

理学部数学科所属の肩書きに恥じない生活を送る笹木元太。いつものように異常に度が強いメガネ、着回しのチェックシャツを身にまとい、ビールで少々膨れた腹を揺らしながら、メインストリートを闊歩する彼。家では無数の数学書に囲まれ、外ではサークル会館でピアノに親しみ、さらには飲み会にも精力的に顔を出す彼は、その生活に十分満足を覚えつつも、何か物足りなさを感じる。そんな彼が家に迎え入れたのは、なんと電子ピアノ(41 万円)。数学と電子ピアノが、彼を理学部数学科たらしめ、これらが揃った家は、まさに彼にとっての桃源郷となる。――そこで鍛錬された演奏は、我々を桃源郷に導いてくれるのだろうか。座して演奏を待つ。

10. 「ピアノソナタ第 2 番『葬送』変ロ短調 Op.35 第 3 楽章」　ショパン

農学部 3 年　浅井　久悟(あさい　きゅうご)

曲紹介

この曲は別名、葬送行進曲ともよばれる作品です。ショパンはこの葬送行進曲を第３楽章におき、そのあとから第 1 楽章、第２楽章、第４楽章を作ったと言われています。非常にソナタの構成感に乏しく、ロベルト・シューマンからは「ショパンは乱暴な 4 人の子供をソナタの名で無理やりくくりつけた」と古典的な形式に囚われない斬新な独創性と評されています。

その中で、今回演奏する第 3 楽章は、壮大な死をとげた英雄の葬儀の列をイメージさせるような荘厳な雰囲気の曲です。第 1 主題では次第に近づいてくる漠然とした恐怖、不安を想起させます。そしてその後、泣き縋る子供を慰めるような第 2 主題を経て最初の主題が現れ、消え去ってゆく。

非常に重く悲しみに満ちた曲ですが、とても綺麗でいい曲なので、みなさんに聴き入ってもらえるように、がんばって弾きたいと思います！

他己紹介

ピアノクラブ部長。部長の貫禄は…おっとこれ以上は触れないでおこう。筆者との共通点は大阪府出身であるということだけにとどまらないのですが，本人のためにも僕のためにも省略させて頂きます(*^^*)

彼はあまり大阪感は前面に出ていないので，言われなければ絶対に分からないような気がします。ピアノクラブに所属している大阪府出身者は全体的にマイルド系なので，分からないと言われればそうかもしれないですが…

以前例会でショパンのエチュード Op.10-1 をサラッと弾いていらっしゃったことからも，隠れた実力派であり，その技術はまさに位相空間論における第二可算公理のようなもの（？）で，部長になるべくしてなったのだと思います。

筆者自身は，何故か浅井さんがコンサートで弾いている所を(おそらく)見たことがないのですが，きっと上手く弾いていらっしゃる事でしょう。楽しみにしています。

11. 「エチュード第 6 番 変ホ短調 op.10-6」　ショパン

「ピアノソナタ第３番 ヘ短調 op.5 第 3 楽章」　ブラームス

工学部 2 年　坂野　遼太郎(ばんの　りょうたろう)

曲紹介

ショパンのエチュードといえば速くて難しくてかっこいい曲が多いのですが、この曲はちょっと違います。全体を通して静かで陰鬱な雰囲気が続きます。ただその分退屈になりがちで、曲として成立させるにはそれなりの表現力を要します。こんな曲もあるんだーという感じで聞いていただけたらと思います。そして 2 曲目はブラームスのソナタ 3 番の 3 楽章、サマーで 1 楽章を弾いたのでその続きです。スケルツォの名がつけられた軽快な 3 拍子の曲です。音域が広く

て音が飛ぶので弾いてても聞いてても気が休まりません。頑張って弾きます。

他己紹介

バンノ。ハタチ。ナガノ育ち。みんなからはバンバンと呼ばれ親しまれています。よく連弾のセコンドをしてくれて、時折馬マスクをかぶってピアノを弾いています。割と似合ってました。指が強くてピアノが上手なバンバンですが、技巧！テクニック！みたいな曲ばかりしか聴き覚えがないので今回のソロが楽しみです。

今回も連弾やってくれて、ありがとう。足引っ張らないようにがんばります。あとこの前スープ無くなって食べれなかったスープカレー食べに行こうね。

12. 「組曲『くるみ割り人形』Op.71a より行進曲・トレパーク」　チャイコフスキー

農学部 4 年　川満　龍平(かわみつ　りゅうへい)

工学部 2 年　坂野　遼太郎(ばんの　りょうたろう)

曲紹介

クリスマスによく流れてる曲だからという安直な理由でこの曲を選びました。いい曲ですよね。坂野君に連弾してみたいよねー的な話をして 1 年弱、ようやく結成した連弾コンビです。筆者人生初の primo（連弾の上の部分）ですが、この曲の楽しさが伝わる様に弾くので温かい目と耳でお聴きいただけたらと思います。

ちなみにくるみ割り人形って見た事ありますか？ちょっと怖いですよね…それはともかくバレエ『くるみ割り人形』は Wiki で物語を見てもあんまりよくわからなかったですが、YouTube で見たトレパークの踊りはカッコよかったのでぜひ見てみてください。

他己紹介

川満先輩の他己紹介をさせていただきます。セコンドのバンノです。他己紹介にあたって打ち合わせ？のやり取りを見返していたのですが、連弾やってみたいと提案したくせに曲も用意してないというなかなか生意気なことをしてしまってました。ただ川満先輩は快く応じてくださり、また楽しい曲を準備していただきました。本当に感謝です。練習の際にも私のわがままに色々こたえてくださり、楽しく練習させていただきました。さて、川満さんが冬でも温かい沖縄からやって来た事は界隈では有名な話ですが、北海道歴が長いと雪や寒さにももう慣れたとのこと。今では雪を操る魔法をいくつも覚えたようです。今回はくるみ割り人形を自由自在に操る魔法を見せていただけるそうです。お楽しみに！あ、部費は払ったそうです。

13. 「ソナチネ」　ラヴェル

工学部 1 年　浜口　怜子(はまぐち　れいこ)

曲紹介

モーリス・ラヴェルは 19 世紀後半～20 世紀前半にかけて活躍したフランスの作曲家で、代表曲には「ボレロ」「水の戯れ」などがあります。ラヴェルのピアノ曲は印象派らしい抽象性を保ちながらも古典の形式美が感じられ、どれも非常に美しいのですが、今回はその中でソナチネの

全楽章に挑戦してみることにしました。第１楽章はまるで水流のような綺麗なパッセージが特徴的な曲で、第２楽章は独特の和声進行が聴きどころのメヌエットです。一転して第 3 楽章はせわしない伴奏の中で何度も同じメロディーが繰り返されるのですが、次々に転調したり突然 5 拍子になったりと、聴き飽きない構成になっています。
私は今まで一度に全楽章を弾いた経験が無いので今回のコンサートは緊張でいっぱいなのですが、聴いてくださる方々に少しでもラヴェルの不思議な世界観を体験していただけたらなと思います！

他己紹介
ピアノクラブに入部して 3 ヶ月、彼女と出会って 3 ヶ月の私が次期部長の浜口怜子ちゃんの他己紹介を担当するということに大変責任を感じております…とにかく彼女の魅力を皆さんにお伝えしたいと思います！
彼女は京都出身の 19 歳、北大ピアノクラブの頼れる次期部長です。初めて怜子ちゃんに出会ったときの第一印象ですが、笑顔が素敵なしっかり者、といったところでしょうか。少しお話しただけで、この子と仲良くなりたいなぁって思いました。そして彼女が弾いてくれたスケルツォ 2 番が本当に美しかったんです。聞けばコンクール出場経験があり、中学生のときには協奏曲もやったことがあるそうで…！もう憧れちゃいます！
うーん、、今のところ怜子ちゃんは完璧ガールにしか見えない…実はこんな一面が！！みたいなのを紹介できたら嬉しいのですが、私はまだまだ彼女のことを知らないようです。これから彼女のいろんな一面が見られることでしょう！そんな彼女が何を演奏してくれるのか、この紹介文を書いている時点で私はまだ知らないのですが、今からとても楽しみです。

3 部

14. 「バラード第 1 番　ト短調 Op.23」　ショパン
薬学部 5 年　山内　佑紀恵(やまうち　ゆきえ)

曲紹介
ショパンのバラード 1 番は、皆さん耳にすることの多い楽曲ではないでしょうか？私もフィギュアスケートの羽生選手が使用した影響でよく聴くようになり、今までにも何度か舞台で演奏してきました。煌びやかさと哀愁、まさに「これぞショパン」という名曲ですよね。華やかなパリでの生活と、反乱の起きた祖国ポーランドへの想い。作曲当時のショパンの複雑な心境が感じられる気がしてなりません。
今回サークルのコンサートに出演するのは丸 3 年ぶりということで不安ではありますが、次またいつ出演できるか分からないので楽しんで演奏したいと思います。

他己紹介
ゆきえさんは定期的にサークルに顔を出しているので、学年の離れた後輩のみなさんも知って

いる人が多いんじゃないかなと思います。
とても親しみやすくて、面倒見がよくて、同期のわたしもとてもお世話になってます。笑
わたしたちはピアノつながりで幼少期にお互いに認識してからしばらくの間、話す機会がなかったのですが、大学で仲良くなれて本当に嬉しく思うばかりです！

さて、ゆきえさんはいつも薬学部の研究や実習でとても忙しくしているのですが、趣味を楽しんだりおいしいものを食べに出かけたりメリハリをつけて過ごすしっかり者です！
わたしもよく一緒に出掛けますが、話していると本当に楽しいのでまだ話したことがない人はぜひ話しかけてみてくださいね！

ゆきえさんのピアノはとてもかっこよくて素敵です！みなさん楽しみにしてくださいね♪乞うご期待！

15. 「バラード 2 番　ヘ長調　Op.38」　ショパン
札幌医科大学 3 年　村越　和基(むらこし　かずき)

曲紹介
全４曲あるバラードのうち１つの作品で、ロベルト・シューマンに献呈されています。
曲の形式は、A→B→A→B→コーダとなっており、静(A)と動(B)の劇的コントラストが特徴で、最後のコーダでは舞曲を思わせる激しいパッセージが激情を放出するかのように奏でられます。
一説には、ポーランドの詩人ミツキェヴィチの「シフィテシ湖」から着想を得た作品とされています。あるときリトアニアとロシアの間に戦争が起こり、町の乙女たちは征服されるくらいならば死をもたらしてほしいと祈ります。すると大地震が起こり町は湖となり、乙女たちは水蓮に変えられ、その後この花に触れる兵士は不幸な運命をたどったという、謎の湖にまつわる物語です。
コントラストに注目して聴いていただければと思います。

他己紹介
村越和基さんの他己紹介をさせていただきます。筆者が村越氏と初めて会ったのは半年ほど前のことです。第一印象はよく覚えていません！落ち着いていて真面目そうだなぁと思ったはずです。彼の人柄に関して言えば、抜群の知性を持ちながらも誇示することなく、むしろ人との距離間を詰めるプロです。僕らは 2,3 回会っただけで 5 年来の友達のような間柄になりました(笑)。馴れ馴れしくされても何故か憎めない、そんな雰囲気を醸し出しております。
さてさて気になるピアノの演奏は…敬意を表するレベルです。本日お越し頂いた皆様にとって、彼の演奏は最高のプレゼントになることでしょう。どうぞご期待下さい。

16. 「ノクターン第 8 番変ニ長調 op.27-2」　ショパン
経済学部 4 年　久保田　詩乃(くぼた　しの)

曲紹介

この曲は、ショパンのノクターンの中でも最高傑作と言われることが多い、素敵な曲です。
繊細で美しく、でも、どこか儚く悲しいようなメロディがとても気に入っています。
そして、この曲は私のピアノ人生の中で、何度か演奏してきた思い入れのある曲です。
1 度目は中学生の時に、亡くなった恩師への感謝と追悼の想いを込めて。2 度目は昨年のコンクールの時に、自分の今までの葛藤と成長への願いを込めて。憧れの全国大会へも、この曲に連れて行ってもらいました。特別な曲です。
今回は、来月から上京するため、札幌での最後の演奏となります。今までお世話になった方々の顔を思い浮かべながら、心のこもった演奏ができたらと思います。
私の音楽で、少しでもショパンの世界を感じ取っていただけると幸いです。

他己紹介
くぼたしのとの会話
筆者:何弾くの？
しの: しょぴん
筆者: 曲は？
しの: ノクターン弾きます
筆者: おーいいねー
しの: ノクターンでしっとりさせます、冬の乾燥ひどいからね
筆者: しののノクターンはニベアなんだ。
しの: ニベアノクターンです。
(一部改変あり)

とのことですので、みなさんは彼女の演奏でしっとりできることでしょう。
今年で卒業なので、極上の音楽を聴けるのもあと少しで、私も悲しい限りです。

17. 「スケルツォ 1 番」　ショパン
経済学院修士 1 年　山本　綾華(やまもと　あやか)

曲紹介
ショパンのスケルツォ 1 番は、コンクールなどでも弾かれる曲で、YouTube で検索すると、かの有名なかてぃんさんの動画が上位にヒットしますね。
スケルツォは本来、シンコペーションなどの特徴的な音形が使われた曲で、日本語では「冗談」「滑稽」のような意味です。しかしショパンは、深刻な曲想を用いてより激しい感情を表現していて、結核を患っていたショパンの息遣いが感じられます。

他己紹介
在籍ピアノクラブメンバー中コンサート出席率 No. 1 を誇るレジェンド、山本あやかさんの紹介文を書けるなんて…筆者は感無量です。

初対面の頃から独特なオーラを放ち、カシスオレンジのエピソード（あやかさんはカシスオレンジという果物が存在すると思い込んでいます。）からお嬢様イメージがついていました。そんな柔らかい印象とは一変し、ピアノを弾き始めるとめちゃカッコいいです。筆者からすると、入部したての時からあやかさん＝１個違いの先輩という感じだったんですがもう卒業…月日が経つのは本当に早いものです。
あやかさんは前述の通りお嬢様（根拠はない）なんですが、意外とフッ軽でたくましいんです。謎の陸別旅行にて同行させていただいた時には鮮やかな包丁さばきを見せてくれたり、麻雀（筆者の趣味）にも興味を持たれたり、よく考えるとミステリアスなお人なのかもしれません。
そしてピアノ。うま。毎回出演してて毎回難曲なのにクオリティ高いんです。ピアノクラブ屈指のピアニスト、あやかさんの最後の外部コンサートが聴けるなんて今日いらしたあなたはラッキーです！ご照覧あれ。

18. 「幻想曲　ヘ短調　Op.49」　ショパン
薬学部 5 年　成家　康太(なりや　こうた)
曲紹介
今回この曲を選んだのには強い理由があります。

fantasie ということで、皆さんと幻想の世界を共にしたいこと、そして何より世界に平和が訪れることを願い、チョイスしました。

幻想曲は、ショパンが愛人サンドへの想い、祖国ポーランドへの想いを込めてフランスにて書かれた曲だと言われています。
そのことは楽譜上の指示や表現においても色濃く出されており、出だしの Marcia(行進曲のテンポで)、マーチのようなパッセージなどポロネーズ的要素が多く含まれており、軍隊を表現してるようなメロディーが度々出てきます。
一方では、好きで好きで忘れられない愛人サンドへの想いも中間部では描かれており、言葉にできないほど好きな気持ちが溢れ出しています。

戦争開始の予感漂う祖国への愛国心、そしてクリスマスの恋人への強い思い、みなさんそれぞれの考えと照らし合わせることのできるような演奏を目指します。

みなさん
Merry Christmas　！
#クリスマス　#ファンタジー　#世界に平和を